

おぎ市議会だより

2015.8月号
Ogi city



ニュース／6月議会

表紙 くうやまかんのんさんじゅうさんたいせきぶつぞう 空山観音三十三体石仏像

- 平成27年度補正予算 …………… P 2
- 予算のなかみ・人事・意見書 …… P 3
- 会議結果・議案の賛否 …………… P 4
- 常任委員会報告 …………… P 5
- 一般質問 …………… P 6～14
- 議会報告会 …………… P 14・15
- 視察研修報告 …………… P 16
- 議員活動・9月定例会(予定) …… P 17
- 地域の学び舎 …………… P 18

平成27年度

一般会計・特別会計補正予算を承認

歳入の主なものは、県補助金、コミュニティ助成事業補助金（宝くじ社会貢献事業）、財政調整基金の繰入れ、市債の増加などによるものである。

歳出の主なものは、「地方創生チャレンジ交付金事業」、「牛津町勝自治会コミュニティセンター助成事業」、「砥川小学校実践的安全教育総合支援事業」、「一般コミュニティ助成事業（祇園祭における法被の整備）」などである。

平成27年度 6月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第1号）	204億6,220万円	5,826万円	205億2,046万円
下水道特別会計（第1号）	28億3,108万円	244万円	28億3,353万円

※単位未満の額は切り捨てています。

< 補正予算の主なもの >

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
地方創生チャレンジ交付金事業	2,337万円	一般コミュニティ助成事業	250万円
コミュニティセンター助成事業	1,330万円	砥川小学校実践的安全教育総合支援事業	70万円

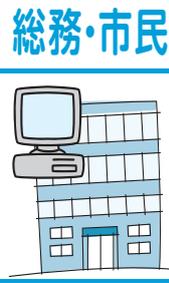
平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算を承認（専決処分）

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計（第1号）	59億5,901万円	4億4,461万円	64億363万円

平成26年度 一般会計補正予算を承認（専決処分）

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第10号）	214億3,028万円	8,074万円	215億1,102万円

主な事業



地方創生チャレンジ
交付金

2,337万円

佐賀県が、まち・ひと・しごと創生法、佐賀段階チャレンジ交付金事業交付要綱に基づき、各地域や集落などの維持および活性化を図るために、市民団体の自主的な取り組みを支援する。

④ 小城市における採択された事業内容は、

① 国登録有形文化財を生かしたコミュニティ活性化事業

② 地域の人つなぎ・交流事業

③ 環境保全事業

④ ふるさと小城情報発信・PR活動事業

⑤ グルメイイベント「小城寒鯉まつり」

⑥ 特産品「羊羹」「ぶどう」を生かしたブランド化

事業

⑦ 伝統ある小城祇園まつりを活かしたコミュニティ活性化事業

⑧ 牛津小学校伝統文化学習事業、および華太鼓ジュニアの地域文化保存事業



▲牛津華太鼓ジュニア

⑨ 体験と食を通じた地域交流・活性化・観光ブランド事業

⑩ 小城の歴史を活かした文化活性化「おもてなし隊」事業
以上10件である。

コミュニティセンター
助成事業(牛津町勝
自治会コミュニティ
センター助成事業)

1,330万円

集会施設建設等に助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指す。



教育・文化・福祉
砥川小学校実践的安全
教育総合支援事業

70万円

砥川小学校6年生5名と引率者2名にて、宮城県内に2泊3日でボランティア研修を行う。6年生として砥川地区のこれまでの災害や防災対策についても学習する。
⑪ どのような活動内容か。
⑫ 現地の生徒と交流したり、避難施設への訪問などを行う。

一般コミュニティ助
成事業

2500万円

地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指して、コミュニティ活動に必要な備品の整備などに助成を行い、地域活動の充実・強化を図る。
⑬ 財源や内容などは、
⑭ 財団法人自治総合センターが実施する宝くじの社会貢献広報事業を財源として、平成28年に700年を迎える祇園祭に統一感を出し、地域の連帯感を強めるために、小城市の各区分に新しく法被を製作する。



▲祇園祭

固定資産評価員の
選任

野口司郎税務課長を選任することに同意した。

人権擁護委員候補
者の推薦

小城市の人権擁護委員が平成27年2月28日をもって辞任したので、後に松尾節子氏を推薦することに同意した。



松尾 節子 氏

都市計画審議会委員の任命

永渕和正、岸川英樹の両議員を都市計画審議会委員に任命することに同意した。

意見書

(第1号)

安全保障法制の慎重審議を求める意見書(否決)

討
論

反対討論

最近の世界情勢を見れば、各地で起こっている紛争が我が国に身近になっている。

現在、安全保障関連法案が国会で審議されているが、この法案の成立は我が国が抱えている専守防衛に何ら変化することもなく、戦争ができることとはほど遠い法案であることを理由に反対する。

賛成討論

集団的自衛権の行使を容認する安全保障法制は、憲法9条を蹂躪する戦争法案である。憲法審査会においても憲法学者3人全員が憲法違反との見解を示した。安倍首相は大幅な会期延長を行った今国会で安全保障法制を成立させようとしている。今こそ慎重な審議を行い、国民の疑問や不安の声に応えるべきである。

(第2号)

教育予算の拡充を求める意見書(可決)

会 議 結 果

平成27年 第2回 小城市議会定例会議決結果 (6月1日~30日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(小城市税条例等の一部を改正する条例)	総	承認(全員賛成)
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(小城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		承認(賛成20:反対1)
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度小城市一般会計補正予算(第10号))	総・産	承認(全員賛成)
議案第48号	小城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総	可決(全員賛成)
議案第49号	小城市国民健康保険条例の一部を改正する条例		可決(全員賛成)
議案第50号	小城市手数料徴収条例の一部を改正する条例		可決(全員賛成)
議案第51号	佐賀県市町総合事務組合理約の変更について		可決(全員賛成)
議案第52号	小城市まちなか市民交流プラザの指定管理者の指定について	産	可決(全員賛成)
議案第53号	小城市固定資産評価員の選任について	—	同意(全員賛成)
議案第54号	平成27年度小城市一般会計補正予算(第1号)	総・文・産	可決(全員賛成)
議案第55号	平成27年度小城市下水道特別会計補正予算(第1号)	産	可決(全員賛成)
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度小城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	総	承認(全員賛成)
議案第57号	工事請負契約の締結について	産	可決(賛成20:反対1)
報告第1号	平成26年度小城市一般会計継続費繰越計算書	文・産	了承
報告第2号	平成26年度小城市一般会計繰越明許費繰越計算書	総・文・産	
報告第3号	平成26年度小城市下水道特別会計繰越明許費繰越計算書	産	
報告第4号	平成26年度小城市一般会計事故繰越し繰越計算書	文	
報告第5号	平成26年度一般財団法人小城市体育協会の経営状況について		
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	適任(全員賛成)
発議第3号	小城市議会会議規則の一部を改正する規則		可決(全員賛成)
意見書第1号	安全保障法制の慎重審議を求める意見書		否決(賛成6:反対15)
意見書第2号	教育予算の拡充を求める意見書		可決(賛成20:反対1)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 —…委員会付託なし

議案等の賛否一覧 (全会一致以外のみ掲載)

中島正之議長は採決には加わりません

議案番号	議員名	松並	永瀨	西	光岡	富永	諸泉	樋渡	中島	江島	深川	市丸	岸川	上瀧	香月	合瀬	松尾	堤	平野	下村	北島	大坪
		陽一	和正	正博	実	正樹	定次	邦美	正樹	知子	高志	典夫	英樹	政登	エミ	健一	義幸	克彦	泰造	仁司	文孝	徳廣
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(小城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第57号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書第1号	安全保障法制の慎重審議を求める意見書	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●
意見書第2号	教育予算の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○:賛成 ●:反対

委員会報告

6月19日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、総務常任委員会で一部修正がなされ、他の全議案については可決した。

総務常任委員会（6月23日）

質問 個人番号カードを発行するメリットは何か。

答弁 住基カードで電子申告ができるが個人番号カードでも申告ができ、将来的に住民票などのコンビニ交付が始まったら、その交付が受けられる。

質問 地方創生チャレンジ交付金事業で市民活動団体のすべてに事業の説明はあったのか。

答弁 その点については問題があったが、追加で二次募集が行われているので各団体にいきわたるように努力する。

さあ、地域の芽を出そう。

あなたの「地方創生」企画募集！追加分

「あなたの『地方創生』企画募集！」については、平成27年3月から4月下旬にかけて募集したところですが、さらなる自発の地域づくりの動きにつなげるため、平成27年度中に実現可能な取組を改めて募集いたします。

応募締切
平成27年7月下旬
※市町により締切日が異なります。
各市町へお問い合わせください。

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/

▲2次募集のチラシ

文教厚生常任委員会（6月25日）

質問 放課後児童健全育成事業の512万4千円の委託先はどこか。児童数が定員よりも少ないクラブでも今回指導員が増員されるが、どういう基準か。

また、現在の加配前の状態で障がい児対応のための加配の指導員は何名か。障がい者と認定された児童数は何名か。

答弁 佐賀県放課後児童クラブ連絡会に委託している。今回指導員増員の4名は、桜岡第2、三日月第1・第2、牛津第2の4カ所、障がい者加配についての基準は、診断を受けられた児童に対して支援が必要かどうかという判断をしたうえで加配している。

また、今回の1年生対応以外の障がい児の加配については4名。現在クラブを利用されている障がい者は22名。

質問 市と保護者の負担額が増えているが。

答弁 国の基準では保護者の負担額は約1万円と高額になるもので、小城市では3千円としている。

受け入れ学年の拡大など、サービスの向上に伴う保護者負担についても検討している。



▲子ども達が楽しみにしている放課後クラブ

産業建設常任委員会（6月24日）

質問 小城市まちなか市民交流プラザの指定管理者に「株まちづくり小城市」を指定した理由は。

答弁 「株まちづくり小城市」の事業計画をみると、企画力、フットワーク力が優れており、また、中心市街地活性化の推進が期待できるため。

質問 議案第57号工事請負契約の締結について、今回の建設工事の中にコンクリート基礎の撤去に要する費用が含まれているが、通常は更地にして用地を買い上げるべきである。このような契約になった経過とは。

答弁 住宅用地の交渉の中では、合意事項では、建物に対する補償をせず、あくまで用地費のみの支払いということで交渉した。基礎より上の建物部分を撤去することで合意し、今回、下の基礎の部分の撤去工事が建築工事の中含まれている。



▲基礎部分が残っている建設予定地



江島佐知子

指定管理のメリット
活かして

市長

サービスの向上や
経費縮減などを図る

江島 ①公共施設の指定管理の現状は。

②効果について検証できているか。

③まちなか市民交流プラザの指定管理について、事務所使用料は他の施設との整合性はとれるか。

市長 ①桜葉館、ゆめりあ、アイル、ひまわり、

さらさら、体育関係8施設を指定管理している。

②それぞれ、施設の目的に応じて独自事業もしながら、利用者のサービス向上や経費削減に取り組んでいる。

③財政課などとも協議をして、整合性がとれるように整理したい。

地域防災力の強化を

江島

①自主防災組織の組織率と実働は。

②地域防災に行政はどう関わっていくか。

市長

①非常時に、市との連絡体制が確立している行政区の組織率は100%だが、何らかの活動をしているのは約半数。

②今年度防災対策課を新設、出前講座など地域に出向いて活動を支援したい。

③戸別受信機は高価であり、これに代わるものがないか現在調査している。

その他の質問

○女性の活躍推進について



松尾 義幸

アイル周辺の
資源磨き構想は

市長

9月末に基本構想を策定し、
年度末に完成を

松尾

①アイルの入館者の市内と市外の割合は。

②市内や老人へのアイル入館料の割引は。

③アイルの湯量は。

市長 ①市内が約4割、市外が約6割。

②開館当初から10年以上、内外に周知されており、誰が市内の人か確認で混乱する。利用料金の区別は考えていない。

③一次試験で毎分2100ℓ、二次試験で毎分380ℓで限界点を見出せず、湯量は十分確保できている。適正湯量として80%の毎分300ℓで

県知事の許可を得ている。通常毎分220ℓ湯している。

松尾

毎分380ℓは、日量549トン。限界点を見出せないだけの湯量があり、泉質もよい。私は常に日本一にできると主張してきた。「資源磨き構想」についての市長の新たな思いは。

市長 アイルとその周辺は、小城市のまちづくり、人づくりに資する資源磨きになる。周辺の医療、スポーツ施設、環境をリンクさせ、9月末を目標に基本構想を策定し、平成27年度末に「資源磨き構想」を完成させたい。



▲地域防災に関する打ち合わせの様子



▲アイル周辺、右端がアイル

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。
議録の設置及びホームページ掲載は8月末の予定です。



諸泉 定次

看護学部誘致の 住民説明会は

市長

公民館で大学誘致の説明会は
機会を見て行う

諸泉 看護学部誘致の設置場所について、住民の関心も高く狭い場所で大丈夫か。

学部誘致となり、大学の希望で公民館跡地となった。

文教地区であり中心市街地のエリア。交通の便

市長 交流プラザにサテライト教室を西九州大学が設置協議の中で、看護

もいい。大学としては5千mは最低必要で、公民館跡地と前の庭、桜岡支館と駐車場、

諸泉 財政支援の見通しや住民説明会を開くべきだが。

市長 大学側は、実習病院や教授陣の確保等があり、8月ぐらいに整備構

想的なものも見えてくる。財政支援は県とも相談したい。小城公民館での住民説明会は機会を見て行いたい。

その他の質問

- 公共下水道の効果的な整備
- 婚活事業について
- 借地解消の方向性について



▲建設予定地の小城公民館周辺

桜岡小のプールまで整備して5千m。プールは移転して改築する。そこで、不足する駐車場は公民館西側の奥のグラウンドゴルフ場を整備し、100台の駐車場を確保する。



樋渡 邦美

市民交流プラザの 運営及び目的は

市長

まちに活力をつけるための
一つの大きな核となる

樋渡 市民交流プラザの指定管理者として(株)まちづくり小城が今議会で提案されているが、その理由は。

まちづくり推進課長 市民交流プラザの整備計画の中で事業整備主体は小城市。指定管理者はまちづくり小城ということで位置づけされている。

市長 中心市街地活性化計画認定の必須条件等により、(株)まちづくり小城を指定管理者として選定した。

樋渡 指定管理者制度の運用に市民ニーズに効果

的効率的に対応また施設の管理に民間能力を活用し経費の節減を図ることを目的とするとなつていが1年間約5千5百万円ぐらいのうち約4千8百万円が指定管理料、直営よりも指定管理が経費の節減になるのか。

まちづくり推進課長

市民サービスの向上。中長期的な視点。またコストの面でも直営でした場合の試算限度額を設定し、その範囲内で提案している。

その他の質問

- 小城市の空き家の状況と今後の対策



▲(株)まちづくり小城が維持管理する市民交流プラザ



永瀨 和正

行革で水道料金の格差是正の考えは

市長 格差是正に努めている
検討し調査したい

永瀨 小城は3つの水道事業で市民生活に必要な水を供給している。西佐賀水道と小城市水道では、なぜ料金に格差があるか。

市長 給水原価が違う。

水道課長 西佐賀水道は小城市水道に比べて給水面積が3・8倍、管の延

長は約3倍と給水効率が悪い。

永瀨 小城市合併時の協

定書では、西佐賀水道企業団の使用料金について新市で協議するとなっていたが、いつ、どのような協議したか。

水道課長 合併後、2回協議した。佐賀西部広域

水道企業団での統合の話が始まっていたので、それを重視した。

永瀨 佐賀市は水道料金の不均衡対策に取り組んでいる。小城市はできないか。

市長 財政上厳しい。

永瀨 3つの水道事業の行政改革を行い、生じた財源での不均衡対策をする考えは。

市長 佐賀西部での統合の推移を見ていく。

その他の質問

○西九州大学誘致について

※佐賀西部広域水道企業団は小城市・多久市・武雄市・嬉野市・白石町・江北町・大町町・西佐賀水道企業団で構成



▲資源磨き構想の核となる牛津保健センター

市長 現在、アイル周辺は健康というキーワードを持って構想を立ち上げようとしている。その中にはやはり食ということも当然入ってくるので小城市の基幹産業である農業、水産業、林業等とどう絡めるか構想の中に入っている。

北島 市長はアイル周辺の資源磨き構想は、医療、スポーツ、健康が大きなキーワードと言われているが、これに地方創生事業を活用して農業、漁業を絡めてはどうか。

市長 現在広報さくらに旬の食材を使った料理を紹介するコーナーがあり、牛津高校生の生徒さん方に料理に参画してもらっているが、空き店舗等でそれらを販売する試みも非常にいいと思う。

北島 次の参議院議員選挙から選挙権が18歳に引き下げられ、若い人も街の色々なものに関わりを持ってもらうことは有意義と思うが、たとえば空き店舗を活用して高校生たちにレストランやフード店経営など考えられないか。

若者の市への参画について



北島 文孝

地方創生事業の活用は

市長 総合戦略推進本部を設置し、事業に取り組む

水道料金比較表 (円、税8%込)

水量	西佐賀水道企業団	小城市		佐賀市	
	水道料金	水道料金	西佐賀と比較	水道料金	西佐賀と比較
7㎡	1,404	1,166	△238	1,404	0
8㎡	1,404	1,317	△87	1,404	0
9㎡	1,649	1,468	△181	1,404	△245
10㎡	1,894	1,620	△274	1,404	△490
15㎡	3,120	2,484	△636	2,430	△690
20㎡	4,345	3,348	△997	3,456	△889

(平成27年4月現在)

※基本水量：西佐賀8㎡、小城市7㎡
※佐賀市は旧久保田町民にかかる料金のうち10㎡まで490円を上限として、また、10㎡を超える場合は、689円を上限として補助。
※小城市は旧小城市と旧三日月町の一部。西佐賀水道は、旧三日月町の一部、旧牛津町、旧芦刈町、旧久保田町、旧福富町。



上瀧 政登

小城市の防災、 牛津川の河川改修

市長 河川整備計画にもとづいて
整備される

上瀧 国土交通省武雄河川事務所より牛津川の河川改修の計画が発表されたが、その進捗状況はどうなっているか。

市長 平成24年8月に整



▲河川改修が急がれる牛津川

備計画が策定され、30年かけて計画的に工事が行われる。引き堤3か所を含め流域内の安全度、上中間のバランスなどを考慮しつつ、着実に整備されるが地元の協力が必

となる。特に山崎地区の遊水地の事業については連携をしながら進めていきたい。

学校給食について

上瀧 地産地消は進んでいるのか。

教育長 地産地消は大事である。栄養職員ははじめ学校の計画取り組みは進んでいるが、その実態は大きく進んでいるとはいえない。大規模な給食センターでは食材を定期的に納入できないこともあり、現実的には不十分な面もある。



松並 陽一

空き家特措法への 市の対応は

市長 市のルールを作って
対処していく必要がある

松並 対処されない空き家を公表することにより、抑止できないか。

建設部長 今回施行された特措法には公表について規定がないため、条例で規定することを検討し

松並 消防署から報告される空き家への対応は。

市民部長 平成25年度は、480件が報告されており、増加傾向にある。解決できたものもあるが、十分でないため、

各選挙の投票率低下 について

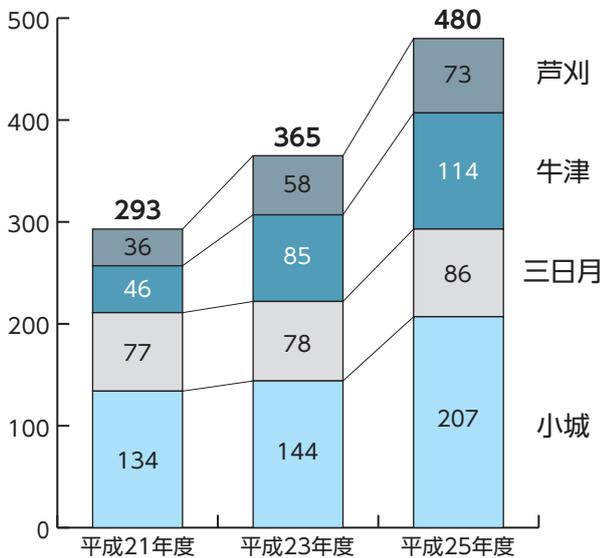
松並 投票率向上への市の取り組みは。

選挙管理委員会事務局長 防災行政無線やホームページでの告知、県と連携した大型スーパードの啓発活動に加え、投票所の案内チラシを全戸配布している。

松並 中学校で、投票行為の重要性を生徒に教育する機会を設けられないか。

教育長 18歳以上に選挙年齢が下がる上で、重要なことなので、校長会を通じて提言していく。

増加し続ける市内の空き家件数(小城消防署調べ)





光岡 実

小城市の農業振興策は

市長

地域が一体となった
農業発展を目指す

光岡 第一次産業の今後が、小城市の将来に大きく影響すると思われる。

そこで、小城市の農業振興と具体策は。

業所得の低迷からくる生産意欲の低下を防ぐため、農畜産物の付加価値を高め、特色ある農畜品を開発や6次産業化の支援を行っていく。

市長 農地の円滑な貸し借りの促進を図り、人・農地プラン等を積極的に活用しながら、地域が一体となった農業発展を目的し、生産体制の効率化と低コスト化に向けた動きを加速していきたい。

さらに、農



▲市内64地区に設置されているワイヤーメッシュ

空き家対策特別措置法の全面施行を受けて

光岡

小城市の対応は。

建設部長

この法律が制定、施行されたので、空き家等に限ってはこの法律を適用していくことになる。

なお、条例の中に上乗せして規定していく部分も必要になるので、現在条例の準備をしており、法に基づいた内容、条例にうたうもの、また、この条例が単なる空き家対策という形だけでなく、まちづくり的などころまで踏まえながら検討していく必要がある。



岸川 英樹

減反廃止で農家への影響は

市長

今まで同様に生産調整数量で
水稻を作りたい

岸川 減反政策が平成30年で終わるが、転作補助金や農業の振興策など農家所得に対しての影響はあるのか。

岸川 減反政策が終了すれば大規模農家は耕作面積100%で米の主食米を作ることができるのか。

進で補助等も受けられる集積を進める。

その他の質問

○公立保育園・幼稚園民
営化方針は

市長 農家へは、地域で設定された生産調整数量に従って水稲を作付けし、転作作物では、平担部は大豆を中心に、中山間地域は飼料用米を推進したいと考える。

岸川 減反による補助金、小城市全体で減少額は。

市長 米の直接支払交付金廃止で約1,936haで、1億4千5百万円の減額が想定される。

市長 県の再生協議会、市の再生協議会等で協議し、米の需要供給のバランスをとり、米価を安定させるため転作率を守る。

岸川 農地の集約化について目標面積などの考えは。

市長 目標は設定していないが、中間管理機構の利用など推



▲大豆の播種風景



堤 克彦

まちなか市民交流プラザ
駐車場は

市長 北側に来館者のため、
100台確保

堤 ①小城公民館跡地は駐車場としての機能がなく、代替の確保をすべきでは。

②近隣の空き地の整備をすべきでは。

③JA小城市支所からの進入道路の整備は。

④舞踊などの畳の部屋は。

で、今のところ北からの進入路の整備は考えていない。
④簡易的な部屋を確保。

市長 ①北側に、来館者のための駐車場として100台確保。
②今は考えていない。
③基本的に国道203号線から、出入り



▲オープンが待たれるまちなか市民交流プラザ

西九州大学の駐車場は万全か

堤 現在の駐車場のほかに、ゲートボール場の跡地、民家があった跡地、桜岡小学校プール、桜岡支館、支館の北側などを整備。市民や地元からは、まだまだ不足ではとの声を耳にするが。

市長 キャンパス予定地が約5千㎡、その中で駐車場を確保。近隣の民間駐車場も確保の予定。

その他の質問

○桜岡青少年健全育成会について



中島 正樹

安心・安全なまちづくり

市長 よりよい整備を行っていく

中島 通学路などの速度超過対策、安全対策などは十分か。今後の方針は。

市長 通学路においては、学校周辺道路や抜け道として利用される道路には「ゾーン30」と表示をするなど、速度抑制やその他の安全対策を必要に応じて整備をしている。

今後は、危険箇所点検を行って、関係機関や地域の方と協議調

を整し、更なる整備を進めていく。



▲水難事故防止のためのポリタンク

中島 水難防止対策の方針は。

建設部長 危険箇所を詳細に把握しながら、転落防止施設の整備など対応していく。

中島 防災行政無線の個別受信機の設置箇所の再考と増設の考えは。

総務部長 様々なケースが考えられるので、検討をしていきたい。

その他の質問

○市有財産の活用について



市丸 典夫

分煙について

市長 議員の熱意は感じている

市丸 禁煙ではなく分煙を。たばこ税が3億4千万円ほど市に入っている。年次計画をもって分煙室を作ってはどうか。

でてくる。その点から各階にガラスばりの分煙室を作ってはどうか。

市長 議員の熱意は感じている。

清水・小城公園の清掃協力金について

市丸 清水の竹灯り、小城公園の花見。清掃協力金及び駐車料として徴収

されているが、その金額と使い道は。

産業部長 清水竹

灯りは収入として1千60万円。開催のための経費として使用している。小城公園の花見は212万円。小城公園の維持管理費を含め観光協会の運営費として使用している。



▲清水竹灯り



香月チエミ

新学部の建設は今後の協議次第か

市長 基本協定は平成30年4月開校に合わせた準備

香月 西九州大学小城キャンパス地域看護学部

香月 大学卒業生による地域の看護師不足の補填というが、市で四大卒の看護師不足の現状は。就職は一般的には県外では。

回の地域看護学部では地域で就職し、地域に貢献する看護師の養成、対策を大学側にも要請する。

市長 8月を目途に大学が策定する整備構想を精査し、補助の上限額を設定し、予算

市長 平成27年度末予測の県内の看護職員不足は431人で、慢性的。今

香月 県との協調補助の協議の状況と、大学講師の学位偽装が整備スケジュールに与える影響は。

市長 大学側が整備構想を策定した段階で、大学側も含めて三者協議する。ペナルティーについては現段階で白紙の状態と大学側から受け取っている。

その他の質問

○中国浙江省海塩県との交流事業等について



▲西九州大学誘致予定の現小城公民館

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は8月末の予定です。



深川 高志

小城市における 土曜教育の方針は

教育長

各学校の創意工夫と
体験学習など

深川 平成28年度より土曜日授業が開始されると聞いていますが、なぜ土曜日授業を開始されるのか、これは佐賀県内全ての学校でされるのか。

次に、文科省における土曜日授業の位置づけとはどういうものか、そして小城市の教育委員会としての土曜日授業実施に対する考え方と土曜授業実施の計画は。

教育長 小城市では地域でも土日にさまざまな行事に取り組んでいるが、全ての子ども達にさまざまな活動を経験させる機会が十分とは言えない。土曜日が保護者の休日でない家庭においては、家

族で有意義に過ごすことが難しい場合もあり、対応が必要である。

小城市と同じ形で全県下進んでいくと思う。県下一律に土曜授業をする場合は、その月の第一土曜のみである。文科省の考えは、従来の学校5日制度は堅持しながら、社会教育関係団体と連携し、土曜日の子どもの教育環境を充実、豊かなものにし土曜日を活性化

化する意味合いが入っている。

実施計画については、各学校が創意工夫して行う教科でも、地域の人材等を活用し体験的な学習などもよい。



▲平成28年度より土曜日授業が始まる小中学校



西 正博

福祉タクシー事業の 現状と今後について

市長

現在286名が利用、事業は今後も継続する

西 福祉タクシー事業は対象の方々の利便性の向上には有難い制度だと考えている。現在は障がい者福祉に限った制度だが、今後、高齢者の方の人口比は増加すると思う。精神疾患の方も増えていくと考えられるが。

市長 現在、対象の方のうち、367名の方に交付し、利用率は約78%。

西 この事業の実施要綱では、第一条に障がい者の方の生活圏の拡大及び社会参加の促進を図り、福祉の増進に寄与すると趣旨にうたっている。平成26年には小城市にご寄付頂いたふるさと

納税は約4億2千万円。全国8位とも聞く。そういう財源を福祉への活用、人への投資に活用することも考えられるのでは。

福祉部長 精神障がい者の方は年々増加の状況はある。内容については、



▲小城市は健康・福祉日本一をめざす

胃がん検診について

西 胃がん検診に胃力メラ検査も推奨する動きがあるとの事で、市の対応は。

福祉部長 検査精度向上のためには、体制の整備もあるが、胃力メラ検査も必要になるとも考える。

その他の質問

○健診受診率向上と「コンビ健診」について
○子どもたちの安心安全について



富永 正樹

人材誘致認定者の活動の積極的PRを

市長

人を育てるといふ観点から見直しを含め検討している

富永 人材誘致認定者の活動が一般市民の目になかなか見えにくい。市が持っている情報発信の道具である「広報さくら」

「アイラブ小城」、スマートフォンで受信できるユーザーチューブ等を活用した発信番組等を積極的に企画立案し、新しい人材発掘や商工観光業の振興並びに市民への情報提供に取組むべきと思うが。

商工観光課長 現在、見直しというところで条例の中身、優遇措置などの見直しをしており積極的なPR活動は今していない。制度改正を行った上で、ご意見やご提案・ご指摘のとおり広報やビデオ

オやアイラブ小城やユーザーチューブなりを使って、PRができるよう目指したい。

活用できるというのは非常に有意義なので、活用できる場をつくっていただくと考えている。

富永 教育の活性化に人材誘致認定者を登用し、土曜授業等とリンクさせながら、プロとしての仕事に対する姿勢や考えなどを体

で覚える時間を子ども達に持つてもらおうと、生きる力を身につけるいい機会になると思うが。

○市内循環・巡回バスの運用について

その他の質問

学校教育課長

今後、学校教育現場で人材誘致認定者の方を



▲進む掛軸の修復作業

議会報告会を開催

5月13・14日に市内4か所で開催し、市政の現状や課題についての報告と質疑応答を行った。その概要は次のとおり。

西九州大学誘致

Q 小城公民館跡に大学が誘致される予定だが駐車場は確保できるのか。

A 執行部は小城高校南、公民館南、桜岡小プール跡地に対応するといっている。また、都市再生整備計画策定事業の中で整備を進める。

Q 私立大学に公の団体が助成をすることは憲法第89条に抵触しないか。また、定員割れが生じた場合はどう対応するか。

A 総事業費が約20億円。大学は市と県に対して補助の要請をされているが、市としては県の決定をみて対応していくとのことである。また、憲法第89条の抵触については執行部に伝える。

市営住宅建設

Q 市営住宅や西九州大学誘致についてPFIなどの手法は考えられたか。

A PFIとは、社会資本の整備・運営において、民間の資金や経営力を活用して公共と民間が協力して行う事業方式

Q 西九州大学誘致でPFIを研究したという報告は受けていない。市営住宅については、時間的・経済的な理由から直営の方がいいということだった。

地方創生、ふるさと納税

Q ふるさと納税の用途は、

- A** 寄付金の用途は大きく4つある。
- ① みんないきいき健康
- ② 宝びかぴかかがやき
- ③ こどものびのびすこやか
- ④ みずきらきら快適の4プロジェクト。

Q 地方創生の五原則は、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視である。小城市ではどう取り組むのか。

A 東京一極集中で地方

が疲弊しているということで色々な施策を講じながら人口減少を食い止める、地方を活性化するために自治体が色々な計画を立てて国に要望する。小城市では今年度プレミアム付き商品券の約9千万円と他の事業の5千万円、計1億4千万円ほどの交付金になっている。

Q 祇園祭が来年700年祭を迎える。小城市を挙げてバックアップしないのか。

A 予算的裏づけがされないのか否か。地方創生、ふるさと納税を活用できないか。

A 祇園祭など小城市には色々な伝統、文化、芸能があるが、ふるさと納税を活用したり、地方創生事業で充当できないか考えていかなうてはいかない。

700年祭ということ従来は祇園祭と違って小城市の祭にしていかなうと難しいと思う。

その他

Q 芦刈幼稚園の幼保一元化について。

A 芦刈幼稚園と芦刈保

育園を併せて認定こども園が発足の予定。

Q 芦刈地区の下水道事業の現状は。

A 三王崎から南はほぼできています。基本的には県道沿いに事業を進めていく予定であるが、県道一部で用地交渉が成立していないため事業にも影響を及ぼしている。

Q ふれあいサロンの公民館使用料補助の5千円がゼロで困っている。どうにかならないか。

A 文教厚生常任委員会でも質疑したが、事業自体は社会福祉協議会に委託されているのでそれ以上は言えなかった。

Q 会議結果を見るとほとんども可決。十分に議論されたのか。賛否結果の中で反対されたその理由は。

A 付託された常任委員会で十分な審議を経て本会議で採決を行う。27年度予算で中国海塩県との交流事業が計上されていたが、審議を行うなかで制度設計が不十分であることなどの理由により、交流事業分を減額した修

正案を可決した。

Q 議会報告会は議員個人の意見を言えないのであれば、意見交換会にすればいいのでは。

A 意見交換会については、今後検討する。

Q ② 経常収支比率が良くない。このままでは財政が破たんするのではと心配。

A ② 経常収支比率とは、人件費や事務費などの経常的な経費が一般会計に占める割合

A 27年度末の起債（借金）残は、一般会計と下水道特別会計を合わせると352億8600万円

で③ 臨時財政対策債が無いと経常収支比率が99.7%になる。26年度から31年度までの中期財政計画は策定されているが、厳しい財政のなかで歳出削減については執行部に対して促している。

③ 臨時財政対策債とは、交付税措置がある借金

Q 牛津公民館駐車場の借地問題はどうなっているのか。

A 二筆ある土地の北側は市の所有。南側は26年度に買収の見通しだった

が、直前になって破談しそのままになっていく。市側も購入できるような鋭意努力を続けていくことだった。

Q 消防団を中核とした地方防災力充実強化に関する法律が施行され1年5か月になるが、小城市としてどのような消防団員の処遇改善を行ってきたのか。

A 佐賀県消防団員確保対策検討会で12項目を取りまとめ、消防団員の装備等の充実、入団促進、市民の理解を図るためのPRを行っている。

Q 資源磨き構想について、コンサルタント、大学教授ばかりに頼らず、市の職員、市内に居られる優秀な方々の人材活用はできないのか。

A 平成27年度も策定事業の予定があるので、執行部に伝えておく。

Q 巡回バスが回っているが、交通弱者の高齢者が困っている。どうにかならないか。

A 時間帯によっては乗車していない時がある。タクシー券を補助するな

ど、今後利用率等も検討しながら執行部に質していききたい。

Q イベントなど「広報さくら」に毎月掲載されているが、多久的のように4月に年間分を掲載できないか。

A イベントや講座をまとめて掲載するよう執行部へ伝えておく。

Q 牛津駅南に整備中の市営住宅の出入口の道路が狭く危険を感じる。取り付け道路をどのように考えているか。

A 道路幅員を車道6.5m、歩道2.2mに拡幅する予定。

Q 芦刈庁舎解体に伴う庁舎内の物品の処分はどうなるか。

A 処分することの周知はするが、個人ではなく地区などに譲渡することになる。

会場での意見

① 議会だよりの「主な事業」の記事が昨年より良くなっている。委員会の中での問答を記載することによって分か

りやすくなった。

② 議会報告会の本会議や委員会での視点・論点をプロジェクト等を使って説明してもらったら、より分かりやすい報告会になると思うので来年度は是非お願いしたい。



参加者アンケートの意見

① 参加数が増えるよう工夫ある取り組みを。
② 今後は議会だよりの報告内容を理解したうえで参加しなければと

思った。

③ 財政の将来不安を執行部にもっと問い質して欲しい。また、小城市をどういう街にしているのかビジョンを作ってほしい。

④ 報告会ではなく、意見交換会の主旨でやったら。

⑤ 今後も市民に分かりやすい議会に。

⑥ もう少し時間をいただきたい。

⑦ もう少し具体的な説明がほしい。

⑧ これからも報告会をしてほしい。以前、市の国際交流に関する要望をした。市に対して議会からも要望していたが、国際交流に充実した市にしてほしい。梧竹生誕の行事についても充実したものにしてほしい。

⑨ 西九州大学の件については、予定地や諸問題など中身がわかるようお願いしたい。

⑩ 執行部のような報告ではいただけません。また、質問・要望に対して、「お聞きしております。」「伝えておきます。」では深まらない。改善してほしい。

総務常任委員会

視察研修報告

(期間) 4月20日～22日
(目的及び視察地)

●富山市におけるコンパクトなまちづくりと、①

②シタイプロモーション事業の視察(富山県富山市)

全国的に広がっている人

口減少と高齢化・自家用車依存による公共交通の衰退、中心市街地の魅力喪失、割高な行政コスト、市町村合併による類似施設の維持、社会資本の適切な維持管理、平均寿命と健康寿命の乖離などについて、富山市では市長を中心に全庁をあげて積極的に取り組まれている。小城市においても同じことがあり大変参考になった。また雇用、居住、教育、文化、環境、防災などの整備にも積極的に取り組み全国のモデル的な事業を展開している。



る。人口規模は違が見習うべきところが多々あった。

①シタイプロモーションとは、自治体の認知度の向上、イメージの明確化を目的とした対外的な宣伝

文教厚生常任委員会

視察研修報告

(期間) 4月20日～22日
(目的及び視察地)

●富岡市、伊勢崎市における登録文化財を生かしたまちづくりについて

(群馬県富岡市、伊勢崎市)

明治政府による高品質生糸の大量生産のための近代西欧技術を導入。官営工場を片倉製糸が合併し保存し、世界遺産と認定された。現在では富岡市が管理している。

翌日、隣接する伊勢崎市では、田島弥平旧宅を中心とするまちづくりについて意見交換した。

世界遺産となった富岡製糸工場と隣接する絹産業群で、市職員はもちろん、まちをあげてボランティアガイド・駐車場整備・観光案内など研修を重ね、大きな混乱は起きていない。

伊勢崎市の担当者からは、隣の佐賀市も三重津海軍所跡地が世界遺産となれば、絶好の機会であるし小城市もアピールすべきとの激励も受けた。

小城市においても、行政とボランティアによる観光ガイドの育成などを急ぐ必要があると感じた。



産業建設常任委員会

視察研修報告

(期間) 4月20日～22日
(目的及び視察地)

●大潟村の農業政策の現状と現場視察

(秋田県大潟村)

今回の視察研修では、干拓してできた大地で豊かで住みよい近代農村社会をつくるため全国各地からの入植者で形成された大潟村を訪ねた。村の歳出予算の18・5%を農業水産業費が占めており、農業が村の基幹産業であることがうかがえる。

米粉の郷づくり推進事業や米粉プロジェクト支援事業などにも取り組まれている。また、大潟村では担い手育成対策に力を入れており、多くの支援事業の実施により、全農家の8割以上が後継者がいるとの報告であった。

米作りは村の生命線と言っても過言ではなく、全国に先駆けて、環境、消費者ニーズに対応した農業へ移行し、有機栽培の取り組みがなされている。県独自の制度として秋田県特別栽培農産物承認制度に取り組み、消費者ニーズに即した農業生産方式の拡大と流通の適正化を図られていた。

さらに、米の多



4月22日、小城市議会全議員で、衆議院議員会館会議室において、内閣府参事官より地方創生について、講義を受ける。(17ページ写真参照)

お知らせ

9月定例会(予定)のお知らせ

9月1日(火)	定例会《開会》
3日(木)	一般質問
4日(金)	一般質問
7日(月)	一般質問
8日(火)	一般質問
9日(水)	議案質疑
10日(木)	議案質疑
11日(金)	常任委員会
14日(月)	常任委員会
15日(火)	常任委員会
18日(金)	討論・採決
24日(木)	決算審査特別委員会(総務部)・市長出席
25日(金)	決算審査特別委員会(市民部)
28日(月)	決算審査特別委員会(教育委員会)
29日(火)	決算審査特別委員会(福祉部・市民病院)
30日(水)	決算審査特別委員会(産業部)
10月1日(木)	決算審査特別委員会(建設部・水道課)
6日(火)	決算審査特別委員会(総括)・市長出席
9日(金)	決算審査に関する討論・採決《閉会》

(※日程など都合により変更になる場合もあります。)

議員活動あれこれ



小城市市制10周年
関東祝賀会
(4月19日)



内閣府からの
地方創生についての研修
(4月22日)



佐賀広域消防局
小城消防署落成式
(4月30日)



子どもの安全を
地域で見守る会
(5月29日)

表紙の紹介

空山観音三十三体石仏像(小城市重要文化財)

この石仏像は、台座の銘から元禄九(二六九六)年〜元禄十五(一七〇二)年にかけて発願者は砥川町の若林伝座衛門正明で、制作者は平川徳兵衛、平川与四右衛門らの砥川石工によって制作されたものであることがわかる。観音菩薩が三十三の姿に身をかえて人々を救済するという観音信仰に由来して三十三体制作されたが、木彫仏を思わせる精巧な彫刻技術を駆使し歴史的文化的価値は非常に高い。

決算審査特別委員会開催

議会改革の一環として、新年度予算編成に反映させるために決算審査特別委員会を上記の通り9月定例会会期中に開催します。市民の皆様は、傍聴へのお越しをお待ちしています。

地域の学び舎

小城市立

さくら おか



桜岡小学校

創立 桜岡小学校は、今から約200年前の1787年(天明7年)に興讓館という小城藩の藩校が前身。「興讓館」という名前は、「人」や「互いに譲り合う心」を大切にしようという思いから名づけられた。1873年(明治6年)11月に、興讓館から桜岡小学校へと名前が変わった。

児童生徒数 417名 (男子216名 女子201名)

学校教育目標

徳・知・体のバランスのとれた
質の高い桜っ子の育成

目指す子ども像

学校目標は桜岡の「や」「か」「た」づくり

- 「や」は「やさしい子」
- 「か」は「かしこい子」
- 「た」は「たくましい子」

主な行事・事業

- ◆ 中林梧竹を中心とした郷土学習・書写(臨書)
- ◆ 卒業生を送る会での「さくら太鼓」の発表
- ◆ 小城公園でのマラソン大会
- ◆ 4年生総合的な学習での「ようかん作り」



桜岡小学校 校歌

一、朝日に匂う 桜が岡の名において
松のときわに 栄えゆく
我が学舎の 榮しさよ

二、秀でて清き 天山を
心におきて 六つ年の
文の机を ならべたる
我が学舎の 尊さよ

三、進みて次の 代を築く
双つの肩は 健やかに
四方の青雲 輝ける
我が学舎の 豊かさよ



校 訓

桜っ子の合い言葉
あいさつ・読書・仲間の力



学校・地域の特色や特長

- 小城鍋島藩の藩校「興讓館」が前身
- 学校の近くに小城公園があるので、すぐに校外学習ができる。
- 全校児童のほとんどが30分以内で歩ける所から通っている。

編集後記

「歳月人を待たず」

月日が経つのは本当に早く、今年も残り5カ月となり年初に立てた目標に向けて頑張っているつもりでも、なかなか達成できていなことに焦るところもあります。

特に、初めてやることや、面倒に感じることは、後回しにしがちですが、いざ取りかかってみると意外とスムーズにいくこともがあると気付かされます。まずは、とにかく手を付けてみたら良いと思います。

年末に悔いの残らないように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。
(松)

委員長 富永 正樹
副委員長 光岡 実
委員 江島佐知子
西 正博

永 和正
松並 陽一